

大山山系での遭難発生状況

(平成28年10月25日現在)

	場所	年齢	性別	怪我の程度	事故形態
2月	大山別山 中央稜付近	50代	男性	重傷	遭難者は、単独で登山中、アックスをかけていた岩が崩れ、約20メートル滑落した後、斜面を数百メートル滑落した。
	大山山頂	40代	男性	無事救助	遭難者らは、4人パーティーで夏山登山道から山頂まで登山中に吹雪に見舞われ、パーティーの1人が低体温症になり、もう1人が疲労困憊で動けなくなったことから、所属する山岳会の理事長にその旨を連絡し、理事長から警察に救助要請があった。
		50代	女性	無事救助	
5月	大山夏山登山道 9合目	60代	男性	無事救助	遭難者は、7人パーティーで下山中、両足が痙攣し動けなくなり、マッサージ等をおこなっても痙攣が治まらないことから、消防に救助要請した。
	大山夏山登山道 1合目	70代	女性	無事救助	遭難者は、2人で下山中、疲労で動けなくなったことから消防に救助要請した。
6月	槍ヶ峰本沢付近	60代	男性	軽傷	遭難者は、1人で槍ヶ峰から下山中、道に迷って下山できなくなったことから救助要請した。
7月	鍵掛峠付近	30代	男性	軽傷	遭難者は、関係者と共に大山登山道及び道標の安全点検を実施した下山中、熱中症の症状を発症したことから、同伴者が消防に救助要請した。
	大山夏山登山道 山頂付近	30代	男性	軽傷	遭難者は、家族3人で夏山登山道を下山中、両足が痙攣し、歩けなくなったことから、同伴者が消防に救助要請した。
	大山一ノ沢付近	30代	男性	無事救助	遭難者は、榎水高原側から大山山頂を目指し、携帯電話と財布のみを所持して登山を開始したが、その後道に迷い、装備品もないことから救助要請した。
8月	大山夏山登山道 7合目	10代	男性	軽傷	遭難者は、26人の団体の夏山登山道を下山中の7合目付近で腹痛、脱水症状が起こり、下山することができなくなり、引率者が消防に救助要請した。
	大山夏山登山道 7合目	10代	男性	軽傷	遭難者は、家族で夏山登山道を登山中、6合目くらいから気分が悪くなり、7合目付近で登山できなくなったことから、同伴者が消防に救助要請した。
	大山夏山登山道 3合目	30代	女性	軽傷	遭難者は、家族で夏山登山道を登山中、3合目付近で気分が悪くなり、自力で登山できなくなったことから、本人が消防に救助要請した。
9月	大山庄司ヶ滝付近	50代	女性	重傷	遭難者は、7人で庄司ヶ滝を目指して登山中、足場が悪くバランスを崩して、右足を捻り、骨折したことから消防に救助要請した。
	大山夏山登山道 9合目	70代	女性	重傷	遭難者は、家族で大山山頂から下山中、バランスを崩して転倒した際に左手を着き、骨折したことから救助要請した。
10月	大山夏山登山道 5合目	50代	男性	軽傷	遭難者は、5人で大山山頂から下山中、登山者とすれ違うときに足を滑らせ転倒し、その際に右手を着いたことから、右手首を負傷した。
	大山夏山登山道 2合目	40代	男性	無事救助	遭難者は、単独で登山中、2合目で休憩していたところ、気分が悪くなり、顔面蒼白になったことから、その様子を見ていた他の登山者が消防に通報した。